

## 高知県金融経済概況

### 【概 論】

高知県の景気は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、弱い動きが続いている。

前回の概況公表時（5月中旬）以降の県内景気を見ると、労働需給は弱めの動きがみられており、雇用者所得には下押し圧力がみられ始めている。個人消費は減少しており、観光は大幅に減少している。公共投資は高水準で推移している。設備投資は横ばい圏内の動きとなっており、住宅投資は弱めの動きがみられている。製造業の生産は弱めの動きが続いている。

先行きについては、当面、下押し圧力の強い状態が続くと考えられる。今後とも、新型コロナウイルス感染症拡大の帰趨や、それが県内の企業収益、雇用・所得などに与える影響について、注視していく必要がある。

### 【各 論】

#### 1. 需要項目別の動向

公共投資は、高水準で推移している。

発注の動きを示す公共工事請負金額をみると、5月は前年を下回った（20/5月前年比：▲41.7%）。もっとも、公共工事の出来高は増加しているとみられる。

設備投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

2019年度の設備投資額（20/3月短観）は、製造業・非製造業のいずれも前年度比減少の計画（全産業前年度比：▲10.2%＜新ベース<sup>1</sup>>）。

2020年度の設備投資額は、非製造業が前年を上回るものの、製造業が前年を下回ることから、全体では前年を幾分下回る計画となっている（同：▲5.3%＜同>）。

この間、企業からみた生産設備や営業用設備（20/3月短観）は、小幅の過剰超となっている（生産・営業用設備判断D.I. <「過剰」－「不足」>、19/12月：▲3→20/3月：+2 <旧ベース>）。

<sup>1</sup> 短観については、2019年12月調査の対象企業のみを集計値を「旧ベース」、新たな調査先を加えた全対象企業を集計値を「新ベース」としている。詳細は『全国企業短期経済観測調査（高知県分）』対象企業の追加について」（2020.4.1）を参照。

**個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から、減少している。**

大型小売店<sup>2</sup>の販売は、減少している。コンビニエンスストア売上高は、弱い動きとなっている。家電量販店販売額は、弱めの動きがみられている。乗用車新車登録台数（20/4月前年比：▲35.9%）、旅行取扱高は、大幅に減少している。

**観光は、新型コロナウイルス感染症の影響から、大幅に減少している。**

県内の主要観光施設への入込客数（20/4月前年比：▲89.5%＜速報値＞）、主要旅館・ホテルの宿泊客数（同：▲79.6%）は、ともに前年を大幅に下回った。

**住宅投資は、弱めの動きがみられている。**

新設住宅着工戸数をみると、4月は分譲マンションを中心に前年を上回った（20/4月前年比：+36.4%）ものの、ウエイトの高い持家などはこのところ弱めの動きがみられている。

## 2. 生産

**製造業の生産は、弱めの動きが続いている。**

機械は、自動車向けを中心に弱めの動きがみられている。食料品は、飲食店向けで弱めの動きが続く一方、家庭向けでは増加している。窯業・土石製品、パルプ・紙・紙加工品は、横ばい圏内で推移している。鉄鋼は、減少している。

## 3. 雇用・所得

**労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響から、弱めの動きがみられている。**

有効求人倍率は、大幅に低下した（20/4月：1.07倍）。常用労働者数は、前年を下回った（20/3月前年比：▲1.4%＜速報値＞）。企業からみた雇用人員については、非製造業を中心にこのところ不足感が後退している。

**雇用者所得については、下押し圧力がみられ始めている。**

1人当りの現金給与総額は、前年を下回った（20/3月前年比：▲2.1%＜速報値＞）。こうしたもとで、常用労働者数と1人当りの現金給与総額の積として表される雇用者所得は、新型コロナウイルス感染症の影響から、下押し圧力がみられ始めている。

---

<sup>2</sup> 県内の百貨店、ショッピングセンター、スーパー等。

#### 4. 物価

消費者物価は、前年比小幅なマイナスとなった。

消費者物価（高知市、生鮮食品を除く総合）は、交通・通信が前年比下落に転じたほか、教育無償化政策等の影響により諸雑費や教育が前年を下回ったことから、全体としても前年を下回った（20/4月前年比：▲0.4%）。

#### 5. 企業倒産

企業倒産は、低めの水準で推移している（20/5月：倒産件数1件<前年1件>、負債総額28百万円<同260百万円>）。

#### 6. 金融

実質預金（銀行、信金、信組）は、個人預金や法人預金の増加から、前年を上回っている（20/4月末残前年比：+2.0%）。

貸出（同）は、地公体向けや企業向けなどの増加から、前年を上回っている（同：+2.5%）。

貸出約定平均金利（銀行）は、低下している（20/4月：1.278%）。

以 上

---

#### 【本文中の使用計数などの出所】

- ・乗用車新車登録台数：四国運輸局「自動車保有台数と販売状況速報」、主要観光施設への入込客数：高知県「月別観光施設利用実績」、新設住宅着工戸数：国土交通省「建築着工統計調査報告」、公共工事請負金額：西日本建設業保証株式会社「高知県内の公共工事動向」、有効求人倍率：厚生労働省「一般職業紹介状況」、常用労働者数・現金給与総額・雇用者所得：高知県「毎月勤労統計調査地方調査」、消費者物価（高知市、生鮮食品を除く総合）：総務省「消費者物価指数」、企業倒産：東京商工リサーチ「高知県企業倒産状況」。
- ・その他の項目は、日本銀行高知支店が個別に収集したもの。
- ・なお、利用統計は公表月によって異なる。